



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 株式会社コンヴァノ 上場取引所 東
 コード番号 6574 URL <http://www.convano.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 壺井 成仁
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員CFO（氏名） 中野 律（TEL）03-3770-1190
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（当社ウェブサイトにて決算説明会動画を配信）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	166	△71.4	△215	—	△216	—	△216	—	△216	—	△216	—
2020年3月期第1四半期	581	4.2	31	180.9	29	200.4	18	205.6	18	205.6	18	205.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△96.34	△96.34
2020年3月期第1四半期	8.09	7.99

（参考）EBITDA 2021年3月期第1四半期 △154百万円 2020年3月期第1四半期 89百万円

（注）1. 当社グループは経営上の重要な指標としてEBITDAを用いております。

2. 2021年3月期第1四半期連結累計期間において、43,100株相当の新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期利益の計算から除外しております。

3. EBITDAの定義、計算方法につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,171	787	787	36.2
2020年3月期	2,219	1,003	1,003	45.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、現時点で合理的な見積りが困難であることから、未定としております。今後、業績予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	2,243,510株	2020年3月期	2,243,510株
2021年3月期1Q	45株	2020年3月期	45株
2021年3月期1Q	2,243,465株	2020年3月期1Q	2,221,024株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2020年8月18日(火)に当社ウェブサイトにて決算説明会動画を配信する予定です。
四半期決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済活動が停滞し、収束の目途が立たない状況から事業継続及び雇用の不安感が高まり、景気の先行き不透明感は一層強まりました。

当社グループの属するネイル業界におきましても、緊急事態宣言に伴う外出自粛や休業・営業時間短縮等の影響により、一段と厳しい経営環境で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府・自治体からの外出自粛要請等を重く受け止め、4月8日よりネイルサロン「ファストネイル」店舗の臨時休業を実施しました。6月1日より全店舗の営業を再開しましたが、ネイル事業及びメディア事業のサービス提供機会が2ヶ月近く喪失したため、売上収益は前年同期に比べて大幅な減収となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の取り組みでは、お客様と従業員の安全と健康を第一に、スタッフは、出勤時の検温及び健康チェック、入店時の靴裏の消毒、店舗内でのマスクの着用、施術前後の手指消毒を実施し、店舗では、飛沫防止シールドの設置、お客様用アルコール消毒液の設置、器具・備品の消毒の徹底、お客様毎に施術テーブルの消毒、定期的な換気を実施しております。

店舗展開では、4月にテナント契約終了によりファストネイル神戸三宮店を閉店し、6月に九州初出店となるファストネイル福岡パルコ店を新規出店しました。

連結業績では、減収によって営業利益は前年同期に比べて大幅に落ち込みましたが、休業店舗の賃料減額交渉を行うなど経費削減に取り組むとともに、休業期間の雇用調整助成金を申請しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益は166百万円(前年同期比71.4%減)、営業損失は215百万円(前年同期は営業利益31百万円)、税引前四半期損失は216百万円(前年同期は税引前四半期利益29百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は216百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益18百万円)、当社グループが経営上の重要な指標としているEBITDA(※)は△154百万円(前年同期は89百万円)となりました。

※ EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ネイル事業

(店舗数)

ブランド名	地域	2020年 3月31日	新規出店	閉店	2020年 6月30日
ファストネイル	関東エリア	36(1)	—	—	36(1)
	東海エリア	6	—	—	6
	関西エリア	5	—	△1	4
	中国エリア	2	—	—	2
	九州エリア	—	1	—	1
	計	49(1)	1	△1	49(1)
ファストネイル・プラス	関東エリア	3	—	—	3
ファストネイル・ロコ	関東エリア	3	—	—	3
合計		55(1)	1	△1	55(1)

(注) ()内はフランチャイズ店舗であり内数であります。

(新規出店・閉店)

年	月	内容
2020	4	ファストネイル神戸三宮店（兵庫県神戸市中央区）を閉店
	6	ファストネイル福岡パルコ店（福岡県福岡市中央区）を新規出店

(業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	572	165	△407
セグメント利益(△は損失)	29	△215	△244

② メディア事業

(業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	10	1	△9
セグメント利益(△は損失)	1	△1	△2

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、419百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が133百万円減少した一方で、営業債権及びその他の債権が98百万円増加したことなどによるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、1,751百万円となりました。これは主に、使用権資産が20百万円、有形固定資産が3百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、2,171百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ203百万円増加し、1,055百万円となりました。これは主に、借入金が増加したことなどによるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ35百万円減少し、329百万円となりました。これは主に、借入金が増加したことなどによるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ168百万円増加し、1,384百万円となりました。

(資本)

資本は、四半期損失の計上などにより前連結会計年度末に比べ216百万円減少し、787百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ133百万円減少し、147百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は299百万円（前年同期は39百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期損失216百万円、営業債権及びその他の債権の増減額△95百万円をそれぞれ計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13百万円（前年同期比6百万円の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出を12百万円計上したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は179百万円（前年同期は54百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加額250百万円を計上した一方で、リース負債の返済による支出を51百万円それぞれ計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが営むネイル事業には、季節性による需要の変動があり、例年では7月下旬から8月下旬の期間が上半期の最繁忙期となる傾向があります。

7月以降の新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う外出・移動の自粛によって、当該期間の需要にどの程度の影響が生じるか精査することが、通期の連結業績予想を合理的に見積る上で不可欠であると判断し、現時点では未定としております。

今後の動向を見極め、業績予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	280,562	147,290
営業債権及びその他の債権	79,680	178,046
棚卸資産	64,474	70,505
その他の流動資産	18,165	23,535
流動資産合計	442,881	419,376
非流動資産		
有形固定資産	85,490	82,210
使用権資産	351,375	331,474
のれん	650,260	650,260
無形資産	490,843	489,798
その他の金融資産	141,924	140,211
その他の非流動資産	600	1,773
繰延税金資産	55,596	55,596
非流動資産合計	1,776,088	1,751,322
資産合計	2,218,969	2,170,698
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	60,101	37,363
借入金	330,000	580,000
未払法人所得税等	27,235	28,571
リース負債	169,686	166,383
その他の流動負債	264,688	242,586
流動負債合計	851,709	1,054,903
非流動負債		
借入金	130,000	110,000
リース負債	187,440	171,076
その他の非流動負債	10,593	10,979
引当金	36,503	36,989
非流動負債合計	364,536	329,044
負債合計	1,216,245	1,383,947
資本		
資本金	92,708	92,708
資本剰余金	658,376	658,533
利益剰余金	251,680	35,550
自己株式	△40	△40
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,002,724	786,751
資本合計	1,002,724	786,751
負債及び資本合計	2,218,969	2,170,698

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	580,647	165,942
売上原価	344,437	304,477
売上総利益(△は損失)	236,210	△138,535
販売費及び一般管理費	205,289	202,693
その他の収益	170	127,977
その他の費用	558	2,225
営業利益(△は損失)	30,533	△215,476
金融収益	116	1,177
金融費用	1,930	1,830
税引前四半期利益(△は損失)	28,719	△216,130
法人所得税費用	10,744	—
四半期利益(△は損失)	17,974	△216,130
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,974	△216,130
四半期利益(△は損失)	17,974	△216,130
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)	8.09	△96.34
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)	7.99	△96.34

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益(△は損失)	17,974	△216,130
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	17,974	△216,130
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,974	△216,130
四半期包括利益	17,974	△216,130

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2019年4月1日残高	82,085	655,491	152,690	—	890,266	890,266
会計方針の変更	—	—	△13,572	—	△13,572	△13,572
修正再表示後の残高	82,085	655,491	139,118	—	876,694	876,694
四半期利益(△は損失)	—	—	17,974	—	17,974	17,974
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	17,974	—	17,974	17,974
新株の発行	5,536	5,536	—	—	11,072	11,072
株式報酬取引	—	△5,510	—	—	△5,510	△5,510
所有者による抛及及び所有者 への分配合計	5,536	26	—	—	5,562	5,562
所有者との取引額合計	5,536	26	—	—	5,562	5,562
2019年6月30日残高	87,621	655,517	157,092	—	900,230	900,230

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2020年4月1日残高	92,708	658,376	251,680	△40	1,002,724	1,002,724
四半期利益(△は損失)	—	—	△216,130	—	△216,130	△216,130
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△216,130	—	△216,130	△216,130
新株の発行	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	157	—	—	157	157
所有者による抛及及び所有者 への分配合計	—	157	—	—	157	157
所有者との取引額合計	—	157	—	—	157	157
2020年6月30日残高	92,708	658,533	35,550	△40	786,751	786,751

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	28,719	△216,130
減価償却費及び償却費	58,085	61,849
減損損失	—	2,190
株式報酬費用	△5,510	157
金融収益	△116	△1,177
金融費用	1,930	1,830
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△14,839	△94,946
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,414	△6,031
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	46	△20,905
未払消費税等の増減額(△は減少)	608	△11,144
未払給与の増減額(△は減少)	4,142	8,443
未払賞与の増減額(△は減少)	△19,521	△41,574
未払有給休暇の増減額(△は減少)	△937	8,916
資産除去債務の履行による支出	△1,584	—
その他	13,740	11,195
小計	69,177	△297,328
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△1,604	△1,263
法人所得税等の支払額(△は支払)	△28,901	△602
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,672	△299,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,243	△12,410
敷金及び保証金の差入による支出	△1,409	△1,869
敷金及び保証金の回収による収入	1,535	1,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,117	△12,587
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	10,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△25,000	△20,000
株式の発行による収入	11,072	—
リース負債の返済による支出	△49,624	△51,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,552	178,506
現金及び現金同等物の増減額	△32,997	△133,272
現金及び現金同等物の期首残高	145,518	280,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,521	147,290

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2020年4月8日から店舗の臨時休業を行なっていましたが、5月18日以降は順次営業を再開し、6月1日以降は全店舗の営業を再開しております。

この休業により、4月及び5月の業績が例年に比べ著しく悪化しております。緊急事態宣言による外出自粛要請は2020年5月末までに解除され、6月以降は全店舗の営業再開により当社グループの業績は緩やかに改善し、新型コロナウイルス感染症の完全な収束により、売上収益等が感染拡大前の水準まで回復するには当連結会計年度末までの期間を要するものと仮定して、会計上の見積りを行っており、前連結会計年度末においた新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントであります。

当社は業績評価に使用する区分として、事業の種類別に「ネイル事業」及び「メディア事業」の2つを報告セグメントとしております。ネイル事業は、店舗でのネイル施術等のサービス提供及びネイルケア商品等の販売をしております。メディア事業は、ネイルサロンの店舗網を活かし、企業等に対し、広告サービスを提供しております。セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。金融収益、金融費用、法人所得税費用は、取締役会が検討するセグメント利益に含まれていないため、セグメント業績から除外しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	570,950	9,697	580,647	—	580,647
セグメント間の売上収益	1,455	—	1,455	△1,455	—
計	572,405	9,697	582,102	△1,455	580,647
セグメント利益(△は損失)	29,486	1,047	30,533	—	30,533
金融収益					116
金融費用					1,930
税引前四半期利益(△は損失)					28,719
その他の項目					
減価償却費及び償却費	58,085	—	58,085	—	58,085
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	164,853	1,089	165,942	—	165,942
セグメント間の売上収益	163	—	163	△163	—
計	165,016	1,089	166,105	△163	165,942
セグメント利益(△は損失)	△214,525	△951	△215,476	—	△215,476
金融収益					1,177
金融費用					1,830
税引前四半期利益(△は損失)					△216,130
その他の項目					
減価償却費及び償却費	61,849	—	61,849	—	61,849
減損損失	2,190	—	2,190	—	2,190

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり四半期利益

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	17,974	△216,130
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,221,024	2,243,465
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	8.09	△96.34

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	17,974	△216,130
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,221,024	2,243,465
希薄化後普通株式の加重平均株式数(株)	2,250,426	2,254,452
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	7.99	△96.34

(注) 当第1四半期連結累計期間において、43,100株相当の新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の計算から除外しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。